



三重電気会報

平成19年8月発行 第102号

残暑お見舞申し上げます



津支部 ゴルフコンペ『電撃会』

も く じ

平成19年度通常総代会開催……………	2	第19回各県青年部交流会開催……………	5
新役員名簿……………	3	中部電気工事業組合連合会	
総代会にて表彰された皆さん……………	3	青年部第19回各県交流会を通じて……………	5
関係団体の表彰……………	3	支部だより……………	6
平成19年度青年部通常総会開催……………	4	会員異動のお知らせ……………	8
顧問・参与の異動(新任)……………	4	訃報……………	9
角谷元理事長逝去……………	4	平成19年度各種実施講習会紹介……………	10

平成十九年度通常総代会開催

五月二十五日、三重電気会館において、第42回工業組合通常総代会を開催した。総代八十五名中、八十二名(委任出席十名)が出席、来賓として、三重県防災危

第42回三重県電気工事業工業組合通常総代会



理事長あいさつ

機管理部消防・保安室長東畑誠一氏、(株)トーエネック執行役員三重支店長岡本章氏のご臨席のもと上野支部石原理事の司会により開会、議長に岡野理事を選出、議案審議に入った。
第一号議案より順次提案審議、質疑応答の後、原案どおり可決承認された。
第六号議案の役員改選となり議長より新理事候補を報告、満場一致により新理事を選出、総代会の議事を一時休憩とした。
直ちに、理事会を開催、新役員(理事長・副理事長・専務理事・常任理事)が選出された。
新役員を代表して楠理事長が挨拶、新執行部の紹介、関連事業の報告、承認をもって十二時五十分終了した。
続いて、十四時から第62

回協力会通常総代会を開催
顧問中部電力(株)取締役三重支店長新澤隆様始め参与の皆様のご臨席を賜り、工組総代会と同様に石原理事の司会、岡野理事の議長により議案審議に入った。
第一号議案より順次提案審議、原案どおり可決承認された。
役員改選についても工組総代会と同様の役員に加え、(株)トーエネック岡本執行役員三重支店長を常任理事とし満場一致で承認された。
終わって別項のとおりそれぞれの表彰を執り行い十五時三十分終了した。



役員紹介

三重県電気工事業工業組合
三重県電気工事協力会

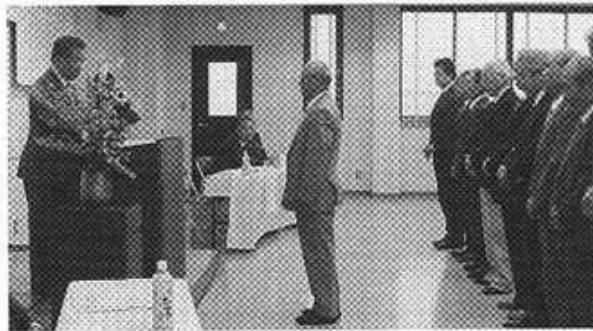
新役員名簿

理事 長	(津) 楠 修次
副理事 長・副会長	(松) 岡野 秀隆
専 務 理 事	(志) 摩 三井 徳男
常 任 理 事	(上) 野 石原 和夫
	(津) 飯田 秀爾 (新任)
	(桑) 名 伊藤 満三
	(鈴) 鹿 藤田 昌憲
	(尾) 鷲 森本 恭弘
	(伊) 勢 鈴木 茂 (新任)
	(四) 日市 市川 保 (新任)
(協) 常任理事 (備ト―エネック)	岡本 章
理 事	(津) 小野 新也 (新任)
	(名) 張 奥村 栄
	(松) 阪 松本 勝美
	(松) 阪 角谷 徹
	(大) 台 森井 貞彦
	(伊) 勢 下井 貢
	(伊) 勢 尾上 勝
	(鳥) 羽 山本 宰
	(四) 日市 和田 博
	(四) 日市 大西 宣義
	(富) 田 太田 一雄
	(員) 弁 伊藤 文一
	(員) 弁 笠井 正也
	(員) 弁 日沖 辰哉
監 事	(龜) 山 光木 寿一

総代会にて

表彰された皆さん

- 一、安全推進優良工事店表彰 (協力店 十五店)
 - 津支部 脩上田電気商会
 - 上野支部 田矢電機店
 - 名張支部 福森電機商会
 - 松阪支部 備伊勢電機
 - 大台支部 西村電気工事
 - 伊勢支部 広下電気工事店
 - 尾鷲支部 備坂本電設
 - 鳥羽支部 瀬崎電設
 - 志摩支部 備山川電気
 - 四日市支部 備増田電機
- 富田支部 昇正電機
- 桑名支部 三上電気工事店
- 員弁支部 小坂電気
- 鈴鹿支部 河村電気工事店
- 龜山支部 電化ソリューションイー
- 二、優良工事店感謝状贈呈
 - (中部電力株 十店)
 - 津支部 三重電気工事 備
 - 上野支部 白鳳電工
 - 松阪支部 備田電気商会
 - 尾鷲支部 山口電気工事
 - 志摩支部 備南電設
 - 四日市支部 備メック
 - 四日市支部 備勢和電設
 - 富田支部 備ケンエイ電設
 - 桑名支部 平野電工社
 - 龜山支部 落合電気
 - 三、小規模工事優良支部表彰 (協力会 四支部)
 - 津支部 尾鷲支部
 - 四日市支部 龜山支部



表彰式

関係団体の表彰

次の方々が各関係団体から晴れの表彰を受けられました。おめでとうございます。

平成十九年五月十日

電気安全中部委員会委員長表彰(電気保安功労者)

電気工事店社 津支部 備アヤ電気

電気工事士 津支部 兼子 信男

名張支部 奥村 栄

大台支部 中野 政人

鳥羽支部 三谷 光一

鈴鹿支部 岡田 薫

平成十九年五月十七日

中部協力会連合会会長表彰(優良技能電気工事店社)

松阪支部 天野電気

伊勢支部 若宮電工

平成十九年度

青年部通常総会開催

六月一日、三重電気会館において、三重県電気工業工業組合青年部会の第二十六回通常総会を開催しました。

八十八名（内委任出席三十一名）が出席、来賓として楠理事長・石原副理事長

が出席された。伊賀ブロック谷高志氏の司会により進行、楠理事長挨拶の後、議長を選出、中勢ブロック乗竹謙一氏が議長となり議案審議に入った。

十九年度事業計画案及び収支予算案の承認」など提出議案について原案どおり全可決承認された。

なお、本年度会員総数は、百十五名となった。引き続き、役員改選を行い、竹田会長をはじめ、全員再任となった。

休憩の後、天台宗僧侶・藤井妙法氏による「成功の哲学」について講演会が開催され、十七時に終了した。



青年部会長あいさつ



妙法氏講演

顧問・参与の異動（新任）

平成十九年七月一日

工業組合・協力会顧問

川瀬 富治

（中部電力㈱執行役員 三重支店長）

協力会 参与

杉浦 光

（中部電力㈱三重支店 副支店長）

栗畑 孝次

（中部電力㈱三重支店 総務部長）

中西 稔和

（中部電力㈱三重支店 営業部営業課長）

大平 順子

（中部電力㈱三重支店 営業部営業課副長）

村木 茂晴

（㈱中部電気保安協会 三重支部長）

角谷元理事長逝去

役員として、永年功勞されました角谷氏が不幸にして物故されました。ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。



19・7・14

2代理事長

角谷 利夫（85歳）

第十九回各県青年部交流会開催



青年部各県交流会

平成十九年七月七・八日に松阪市「松阪フレックスホテル」において「第19回各県青年部交流会」が開催され、来賓として中部連合会楠副会長を始め全日電工連全国青年部協議会代表幹事3名、(社)全関東電気工事協会青年部会長以下5名を招待。各県青年部会総勢一〇二名が出席する中、三重県青年部会谷副会長が開会を宣し、盛大に開催されました。

今回の交流会は三重県が

主管となり、竹田会長以下全役員が一丸となって計画・実施しました。

まず始めに研修会(第一部)パネルディスカッションにより「組合の歴史的な背景と業界を取り巻く状況を認識し、今後の業界を見据えた青年部事業を考えよう！」をテーマに中部連合会青年部会斉藤会長をコーディネーターとし中部連合会副会長を始め9名がパネルとなり、活発な意見交換が行われた。

研修会(第二部)では第一部のパネルディスカッションを踏まえ業界の未来を考え、今何をすべきかについてテーブルグループディスカッションを実施し、その検討結果をグループ毎に発表した。その後の懇親会の場でも、各県・各事業所における課題等について話し合い大変な盛り上がりを見

せた。

最後に三重県青年部会満副会長からの閉会の言葉で第19回各県青年部交流会は閉幕となった。

中部電気工事業組合連合会 青年部第19回 各県交流会を通じて

三重県工組青年部会 会長 竹田 浩久

去る7月7日・8日、「温故知新：歴史的背景を学び、現在の状況を認識し、今後の業界の未来像を見据えて一歩踏み出そう！」のテーマで、松阪フレックスホテルを会場に、中部電気工

業組合連合会青年部第19回各県交流会が開催されました。

楠理事長はじめ越智・会津・樋口全日電工連青年部代表者代表幹事の方々にもご臨席いただき、厳粛なる開会式典の後、研修会(第一部)パネルディスカッション(第二部)グループディスカッションが行なわれました。同世代の同業者が約100名の参加をいただき、組合設立時の状況を含め業界の歩んできた道を学ぶことから始まり、現在の業界・組合への意見が多く出されました。

生活になくはならない電気を安全に安定供給するため、ますます責任が大きくなる一方、より広い知識・より高い技術・より厳しい作業環境が、私たち業界に求められています。そうした状況の中、適正なる評価を受けているだろうか？また少子高齢化社会に本格的に突入した今、業界の将来を担うべく人材の確保はど

うであろうか？など、今業界が抱えている問題を、自分達の問題として捉え、真剣・活発なる意見交換に時間があったという間に過ぎました。

その後の懇親会では、共通する部分が大変多い仲間として、お互いの抱えている問題や悩みなど、より深いより身近な交流が図られました。

またそれに加え、当会員の方々には、企画・運営スタッフとしても、それぞれの立場で精一杯勤めていただきました。ご来県いただいた方々には大変有意義な実り多き交流会に、ご満足いただいたと思います。そして、今回の交流会を通じて、当会会員同士の結束がより強まったと感じます。

最後になりましたが、交流会開催にあたり多くの方々にご協力をいただき、ありがとうございます。今後とも当会に温かいご理解ご指導をお願い申し上げます。

支部だより

〈尾鷲〉 〈鳥羽〉 〈四日市〉 〈桑名〉

尾鷲支部

ヤーヤー まつり

奥村由子

原稿の依頼を受けて、内容はどうなことでいいですよと言われたものの、一向に思いつかず、祭りのことを書いている人が多いよなので、私も祭りのことを書くことにしました。

尾鷲神社のお祭りではヤーヤーまつりというのがあります。ヤーヤーまつりのヤーヤーとは、武士が立会いの時に名乗る『やあやあ我こそは…』という言葉に由来されていると言われていて、そうです。毎年2月1日から2月5日まで行なわれるお祭りです。一番の見所が2日から4日まで行なわれる練りと垢離掻きです。練りとは、男の人たちが、白装束に町の名前の入った法被を着て『ちようさじやちようさじや』と言いながらぶつかり合いをすることを言います。『ちようさじやちようさじや』の意味は調べて見たけれど分かりませんでした。最後の4日の練りは、600名ほどになるそうです。垢離掻きとは、練りを行なう前に素っ裸で海に飛び込み体を清める儀式です。

最終日には、当番町の大名行列があり、当番以外の町がその後尾鷲節やその年に流行した歌などの道中踊りで続きます。道中踊りでだいたい小学校までの子供達が、お化粧をしておそろいの衣装を着て踊ります。

鳥羽支部

盆祭行事

上村政男

仮装して踊る町もあつたりして、これもなかなか楽しめれます。ぜひ一度見に来てください。

私が住んでいる町では、毎年八月十五日のお盆に火祭り(火柱大念仏)という先祖等の供養祭が執り行われています。

この始まりは、四百余年の戦国の世に九鬼水軍を率いて活躍した郷土の武将、九鬼義隆が隠田岡(現在の共同墓地)で始めた祭りで昭和六十二年十二月に国の重要無形民俗文化財の指定を受けて鳥羽では唯一の国指定のお祭りです。

内容と致しましては、その当日隠田岡にて五十人程の役割の方々が柱松と称される祭りのメインとなる物

を作ります。大木杉の丸太先端部分に麦ワラで反円錐状の壺(つぼき)を作りつけ、その中に花火も仕掛けます。また、十三メートルぐらいの二本の青竹(旗竿)、丸く練りこまれて作られた三本の縄も一緒に付け、機械の動力と人力で立てられて完成させます。

そして夕刻から若衆と呼ばれる若者達が、重さ七十二キロの銅製で作られた円形状で直径五十センチほどの鉦二個を二組の人力で担ぎ、楽(割り抜き胴締め太鼓)十個とカンコ(小太鼓)二個と共に打ち鳴らされ観音堂で最初の太鼓を叩き、一度区切りをつけま

す。そして役員の方々が勢揃いしてそれぞれに挨拶を済ませ、その場所から一キロほど離れた隠田岡へ徒歩にて向かい大念仏が再開され、戦没者や初盆者並びに先祖の供養が深夜まで延々と行われます。

その間、終了するまでは音が鳴り止む事も、重量のある鉦が担ぎ手より下ろされる事もないのです。大念仏が終了すると三十分ほどの休憩に入り、若衆たちや人もそれぞれ自家の墓地へと行き食事をします。

それからまた若衆たちにより、火祭りが始められます。タイ(五十センチほどに切断されたオガラ)の束に長石を縛りつけた物)の先端に火をつけて、つぼきの中へ投げ入れていると火が引火し、次第に燃えだしてきます。つぼきが炎々と燃え広がると、頃合いをみて柱松を支えている縄が解かれ一気に倒されると観衆から大歓声が起こり、この火祭りは終わりを迎えるのです。

私もこの祭りには、これからは携わっていかなくてはなりません。現在では過疎化や少子化が進みゆく事火祭りの継続も危ぶまれていると承知されています。伝統あるこの祭りが『郷土の宝』として継承されていくよう祈願します。

四日市支部

100才
倉田 弘

新聞記事にもなったのでご承知の方もあると思いますが、菟野町にある中部電力の千草発電所が今年百年を迎えます。県下現役最古の水力発電所です。
三〇六号線から七六二号線（朝明溪谷線）を山に向い田圃の中を進み森林地帯に入って右折すると朝明川に架る一の瀬橋がありこの右折手前の右手（山向）道路下にあります。橋を渡って川沿いに上手に行けば朝明溪谷、ヒュッテがあり昔は滋賀県の八日市と三重を結ぶ要路でありました。橋から右手に行くと県民の森に続く東海道自然歩道とな

ります。

明治二十九年に、四日市電灯株式会社が発立され、四日市市北条に火力発電所を建設、電気事業を始めましたが事業の進展に伴い電源開発が求められ、四日市電灯設立にかかわった九鬼氏他二氏が千種村と朝明川の水利契約を明治三一年に、結んでいたもので、明治四〇年四月に三五〇kwの千草発電所が完成しました。

発電所の上流約二kmに取水ダムを設け約一km川沿いの導水路を経て、落差二二一mで発電しています。最初の発電機はゼネラル・エレクトリック社。水車はベルトンウォーターホイール社製で、現在の近鉄湯の山線で菟野小学校前の踏切まで運び後牛車、大八車で運ばれました。
昭和五十二年稼働から七〇年目に改修出力増強工事が行われ、五〇〇kwになり、平成一七年には五三〇kwとなり菟野町地内の約二百軒に送電しているミニ発電所

です。

当時は電気料は定額制とメートル制に分かれていてほとんどが定額灯で五燭が六〇銭・十六燭が九〇銭。（燭は高度の単位。一燭はほぼ一カンテラに等しい）メートル制は湯の山の旅館五軒・菟野、中菟野で二軒だったそうで、一般家庭に電灯が入るのは大正も後の方のように、現在の電気利用の状況からは隔世の感があります。

ちなみに県下最初の水力発電所は明治三三年開業の鮎田発電所（紀宝町鮎田）で昭和三八年廃止されています。

桑名支部

「コーチング」

森 正 浩

私は、中学校卓球部の外部コーチなるものをしていて。娘が在籍していた折の紛れもなく親バカから始まったものである。熱心な顧問の先生の下で娘は高校より勧誘が来るほどの成績を挙げた。その先生への恩返しと、お手伝いの気持ちで現在も続いている。

コーチとはいえ、私の実力といえ、中学生には負けたくないと必死になっているぐらいの腕前である。

さて「コーチング」これが出るとは何か難しい。同じミが出来るのは何が原因だろう。この感覚を教えたいがどう表現したらよいだろうとアドバイスひとつにも自問自答の繰り返しなのだ。子供達それぞれの個性に合ったアドバイスを考えている中で、決まって言う言葉がある。

『とにかく考えなさい。』
「卓球は100メートル走をしなげら、将棋・チェスをするような競技である」と表現されるがごとく、練

習であれば、どういう課題、意識を持ってしているか、試合であればどういうプレーで点を取り、取られたか、ボールの回転、スピード、コース等、プレーをしなげら分析し、どう攻めるか作戦を考えなさいという意味で発している。また、普段からモチベーションを維持し、自分で考え、打開していく力をつけて、ひとつでも多く勝たせたいという思いでもある。

そう「コーチング」という言葉は、只、解決策を与えるのではなく、個人を成長させる意味合いを強く持つ。

しかし、現実には、思い通りに運ばない。先生の忍耐強さに脱帽し、僅かずつだが、子供達の成長を感じつつ一緒に汗を流す日々である。

蛇足ながら、わが娘、現在、高校へ元気に通っている。その学校に卓球部がないと入学後に気がついたのだった。

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部名	種別	コード 番号	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録(届出) 番号
松阪	新規加入	32184	安藤電気	安藤 隆匡	515-0071	松阪市桜町19-2	0598-21-6619	19-058
上野	新規加入	31508	川東電気	川東 英樹	518-0131	伊賀市ゆめが丘2-20-16	0595-21-7535	18-251
津	退会	31002	共栄電気工業	繁田 義久	514-0838	津市岩田5-5	059-226-3233	(届出) 46-01
津	退会	31315	吉村電気工事	河北 明己	514-1107	津市久居中町297-8	059-256-6688	(届出) 51-47
大台	退会	32332	御村電気工事	御村 和良	519-2703	度会郡大紀町滝原709-1	0598-86-3071	(届出) 89-9
員弁	退会	34625	三和電機商会	一色 義美	511-0256	員弁郡東員町南大社1564	0594-76-2464	18-159
上野	退会	31447	アカシヤ電気商会	松本 恵	518-0845	伊賀市木興町15-77	0595-21-1629	18-286
伊勢	退会	33162	ダイデンサービス	作野 輝夫	519-0602	伊勢市二見町江1095-13	0596-43-4119	18-312
松阪	退会	32145	㈱伊藤電気工業	伊藤 昌子	515-2354	松阪市嬉野下之庄町1754	0598-42-5878	(届出) 00-9
富田	退会	34319	㈱宙伸電機	渡辺 芳英	510-8034	四日市市大矢知町1076-3	059-364-5405	(届出) 52-10
四日市	退会	34044	電光社	村山 昌男	510-0035	四日市市陶栄町1-15	059-331-7508	16-43
津	退会	31330	奥村電工舎	奥村 善平	515-2522	津市一志町波瀬4343-1	059-294-7155	14-41
亀山	退会	34919	㈱双葉電機工業所	三須 修一	519-0105	亀山市みずほ台14-301	0595-83-1122	18-204
上野	退会	31469	浜口電機	浜口 正男	518-0033	伊賀市大野木1549-5	0595-23-0025	16-95
富田	退会	34302	㈱大野電気工業所	大野 靖晃	510-8015	四日市市松原町6-14	059-365-3208	18-100
名張	退会	31608	今井電気商会	今井 主税	515-3536	津市美杉町太郎生978-8	059-273-0114	18-38
志摩	退会	33437	別当電気商会	別当 幸生	517-0405	志摩市浜島町南張1674	0599-53-0551	15-139
津	退会	31111	㈱安藤電気工業所	安藤 政慶	515-2314	松阪市嬉野新屋庄町366	0598-42-4657	(届出) 94-12
志摩	退会	33459	田辺電工社	田辺 久好	517-0404	志摩市浜島町浜島2714	0599-53-2505	16-63
富田	退会	34327	水谷電気	水谷 良平	510-8121	三重郡川越町高松345	059-365-1753	15-137
尾鷲	退会	32435	岩田電気商会	岩田 克	519-3921	尾鷲市賀田町1569	0597-27-2374	15-90
員弁	退会	34610	杉山電機工業社	杉山 嘉蔵	511-0511	いなべ市藤原町市場465-2	0594-46-4455	18-158
伊勢	退会	33079	南部電工	世古 健二	519-0415	度会郡玉城町田丸52	0596-58-3765	18-108
四日市	退会	34168	㈱吉川電気	吉川 実	510-0944	四日市市菅川3-96-13	059-321-5366	(届出) 51-7
桑名	退会	34470	東弘電気工業	水野 廣	511-0104	桑名市多度町駄江331	0594-48-3977	15-180
津	退会	31059	日本自動電機工業	稲葉 博和	514-0813	津市八幡町津46	059-227-0332	18-198
松阪	退会	32148	和手電気工事	和手 孝夫	515-0832	松阪市丹生寺町127-25	0598-58-1988	14-179
四日市	承継加入	34031	カズデンキ	前川 和廣	510-0805	四日市市東阿倉川773 セントラルアイラB-10	059-333-7705	16-42
四日市	承継加入	34177	ケイ電設	賀治 敬一	510-0893	四日市市前田町15-1	059-382-5146	15-108
津	承継加入	31070	川合電工	伊藤 友彦	514-0822	津市南が丘3-20-8	059-229-7210	16-44

支部名	種別	コード番	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録(届出)号
四日市	承継加入	34051	はやし電気商会	林 伸也	512-1303	四日市市小牧町2692-5	059-337-1133	18-43
四日市	承継加入	34065	高角電気	近藤 昇	512-0923	四日市市高角町415	059-326-2309	18-6
伊勢	承継加入	33102	橋本電機商会	橋本 務	516-1533	度会郡南伊勢町栃木竈29	0596-78-0965	15-136
津	承継加入	31346	福田電気商会	福田 清彦	515-3421	津市美杉町八知8229	059-272-0476	19-077
名張	承継加入	31613	福森電機商会	福森 祥史	518-0226	伊賀市阿保1419-6	0595-52-0131	18-135
志摩	承継加入	33434	光電気工業	西根 聡	517-0213	志摩市磯部町穴川194	0599-55-2352	(届出)07-007
松阪	変更	32183	俵リョーデン	前 豊巨	515-2331	松阪市嬉野須賀領町335-2	0598-48-3300	(届出)06-21
松阪	変更	32181	小倉電気	小倉 忠浩	515-0046	松阪市南虹が丘町18-15	0598-29-3005	19-099
津	変更	31335	稲垣電気	稲垣 正範	515-2504	津市一志町高野1108	059-293-1727	19-21
員弁	変更	34629	田代でんき	田代 昌哉	511-0217	いなべ市員弁町大泉新田1376-1	090-5864-3231	15-166
四日市	変更	34053	佛エレクトリック・トーコー四日市営業所	小林 将	510-0854	四日市市塩浜本町2-27-2	059-345-3101	(届)局長53-2
津	変更	31138	佛ショウムラデンキ	庄村 親俊	514-0045	津市美川町10-11	059-227-5816	17-162
四日市	変更	34177	ケイ電設	賀治 敬一	513-0836	鈴鹿市国府町4935-124	059-382-5146	15-108
津	変更	31338	金児電気店	金児 薫	515-2516	津市一志町田尻368	059-293-0515	(届出)55-6
津	変更	31086	佛セイワ電気	鈴木 健生	514-2322	津市安濃町戸島818-1	059-268-2869	(届出)98-7
四日市	変更	34055	日本ファシリオ佛四日市営業所	栗田 博武	510-0067	四日市市浜田町3-12 四日市三交ビル	059-354-2345	(届)大臣46203
四日市	変更	34107	川村電機	川村 直也	510-0834	四日市市ときわ3-2-25	059-352-0211	18-20
松阪	変更	32173	佛エイティ	濱口 敬治	515-2302	松阪市嬉野天花寺町647-304	0598-42-7320	16-102
津	変更	31335	稲垣電気工事	稲垣 正範	515-2504	津市一志町高野1108	059-293-1729	19-21
上野	変更	31410	佛三和電気商会	恒岡 治郎	518-0001	伊賀市佐那具町528-6	0595-23-3056	(届出)46-17
四日市	変更	34123	三重電設備	斎藤 邦子	512-0911	四日市市生桑町347-4	059-333-0080	(届出)46-73
津	変更	31089	藤高電気商会	藤高 智	514-2324	津市安濃町栗加1258	059-268-3929	(届出)88-5
四日市	変更	34116	佛名電設備工業	坂井 和子	510-0894	四日市市大字泊村980-22	059-345-4711	(届出)93-16
志摩	変更	33470	日本ファシリオ佛志摩営業所	木下 茂	517-0501	志摩市阿児町鶴方2765-2	0599-43-1304	(届)大臣46-203
四日市	変更	34165	樋口電気工事	樋口 勇一	510-0886	四日市市日永東3-15-22	059-349-6510	16-50

事務局職員紹介

四月二日付

四日市支部事務職員

矢野 裕子

不慣れなためご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

訃報

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

伊勢支部 橋本電機商会

橋本 芳通(八十一歳)

四日市支部 電光社

村山 昌男(七十三歳)

津支部 奥村電工舎

奥村 善平(七十一歳)

上野支部 浜口電機

浜口 正男(六十六歳)

上野支部 福森電機商会

福森誠之助(八十歳)

平成19年度 各種実施講習会紹介

〈高圧ケーブル端末処理材講習〉

(日 時) 9月21日(金) 13:30~17:00

(会 場) 三重電気会館

(講習内容) ① ケーブル及び端末理論：高圧ケーブルの概要と端末処理について
 ② 端末実技：プレハブ端末ニューパット100を使用の実技
 高圧ケーブルの前処理から端末処理材組立てまでの実技

〈「第1種電気工事士」受験準備講習会〉

	実施日	時間	会場	備考
学 科	H19年9月1日(土) ~ 9月22日(土)	9:00~16:00 (6H)	津：三重電気会館 四日市：ポリテクセンター三重	毎週土曜日 (4日間)
	H19年9月2日(日) ~ 9月23日(日)	9:00~16:00 (6H)	伊勢：ポリテクセンター南伊勢	毎週日曜日 (4日間)

	実施日	時間	会場	備考
実 技	H19年11月10日(土) ~ 11月24日(土)	9:00~16:00 (6H)	津：三重電気会館 四日市：ポリテクセンター三重	毎週土曜日 (3日間)
	H19年11月11日(日) ~ 11月25日(日)	9:00~16:00 (6H)	伊勢：ポリテクセンター南伊勢	毎週日曜日 (3日間)

〈第1種電気工事士定期講習〉

19年度三重県下の第1種電気工事士定期講習は2回実施されます。

第1種電気工事士定期講習のご案内(申込書在中)が受講日の約4ヶ月前に「独立行政法人製品評価技術基盤機構」から受講対象者宛送付されます。また、5年を過ぎてまだ講習を受講されていない方は受講可能な日時の間い合わせ先、又は各支部までご連絡ください。

講習日時	会場	申込書提出先(問合せ先)	TEL番号
H20年1月23日(水)	三重電気会館	(社)日本電気協会中部電気協会	052-252-5019
H20年2月5日(火)	三重電気会館	三重県電気工事業工業組合	059-226-4862

発行所

三重県電気工事業工業組合
事務局

TEL 059-226-4862

FAX 059-226-4869

E-mail miedkuni@zvtv.ne.jp

=安全推進運動標語=

元気よく 安全呼称で 無災害

習慣が わが身を守り 家族も守る

慣れたころ 基本にもどり 安全作業